

床暖房用(本実タイプ)無垢フローリングの施工方法(温水マット式床暖)

施工前の注意

1. 保管する場所は湿気の多い場所を避け、極力直射日光が当たらないようにし、水平においてください。
2. 施工の数日前に梱包から開け、周囲の環境になじませてから施工を行ってください。
3. 天然の無垢製品ですので多少色柄が異なります。必ず施工前に仮並べを行い、色柄あわせを行ってください。その結果、段差・反り等が生じた場合はそのまま施工せず、切りまわしまたは、はねてください。
4. 問題がある場合は施工せずに弊社に連絡してください。施工後のクレームは原則としてお受けできません。

施工上の注意

無垢フローリングは、空気中の水分を吸収・発散する働きがあります。その結果といたしまして「膨張」「収縮」等が生じ施工状況によっては不都合を引き起こす場合があります。より良い仕上がりにするために、以下の要領をご参照のうえ施工を行ってください。なお、弊社製品は内装用のため、外装用としてはお使いいただけません。

1. 接着剤は一液ウレタン樹脂系接着剤を使用してください。
2. スクリュー釘かステープル釘(38mm以上)を使用してください(約45度の角度で小根太上に確実に打ってください)。
3. 同梱のスペーサー(0.5mm厚)で隙間を必ず設け施工を行ってください。
4. 接着剤は、小根太の上および小根太の延長上のマット表面に塗布してください。またダミー部分についても塗布してください。フローリングのサネ部分への塗布はしないでください。
5. 釘打ちは、温水マットの小根太部と重なる部分およびダミー合板のみで行ってください。
6. フローリングの木口(エンドマッチ部分)の接続が温水マットの小根太の上にくるように施工してください。
7. 部屋の端部においてはフローリングの端面の突合わせ部から5mmほど間隔を空けて施工してください。
8. 温水マット周辺部のダミー合板は温水マットと同厚である12mm合板(JASタイプ1)を使用し、段差がないように仕上げてください。
9. 仮並べをして全体としても色調のバランスをとってください。
10. 温水マットの小根太とフローリングが直行するように並べてください。
11. 温水マットとダミー合板の境目にはフローリングの継ぎ目が重ならないように割り付けをしてください。
12. 温水マットの小根太部分以外には絶対に釘を打たないでください。
13. 床暖房対応品は乾燥管理を十分に行って製作しておりますが、無垢の特性上、収縮・膨張・反りが発生することがございます。(一般用フローリングに比べると、その比率は非常に少ないです。)

施工後の注意

1. 表面保護のため、必ず養生シートを全面に敷いて砂などが入らないように養生をしてください。ただし床材に直接養生テープを使用することは避けてください。塗装剥離を起こす可能性があります。
2. 養生シート敷いた後で作業を行う場合は、床材表面に傷をつけないようにフロア養生板でさらにカバーされることをお勧めいたします。
3. ストープ・電気カーペット等をご使用の場合は狂いが生じる可能性がありますのでご注意ください。